

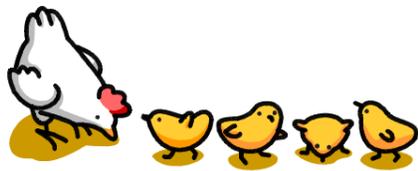
文字・活字文化の日(10月27日)制定を記念し、図書館サービスの向上と読書活動の推進を図るため、県民とともに図書館のあり方を考える「つどい」を開催します。「子ども読書活動交流集会」も、この事業の一環として同時開催します。

日時 平成21年11月28日(土)
10:00~16:00
会場 浦和コミュニティセンター

詳細は、ちらしや埼玉県立図書館のホームページ等でご案内します。

問い合わせ

埼玉県図書館協会事務局
(県立浦和図書館内)
〒330-0063
さいたま市浦和区高砂3-1-22
電話:048-829-2821
FAX:048-829-2979



講演会・分科会のご案内

午前 (10:00~11:45)

記念講演「うたが生まれるとき」講師 工藤直子氏(詩人)

午後 子ども読書活動交流集会

- 分科会1 地域での取組
- 分科会2 学校での取組
- 分科会3 読み聞かせ講座
たのしいおはなし会をもつために 小さい子供向け
- 分科会4 読み聞かせ講座
たのしいおはなし会をもつために 大きい子供向け

全日 大学・高校・公共図書館部会(展示)

- 大学図書館
太宰治からファールまで~大学図書館のお宝お見せします
(特別出展:旧制浦高資料) 10:00~16:00
- 高校図書館 高校生のLovebook(ラブック)
- 公共図書館 「こんな"mono"もってます、集めてます!!」
~埼玉県内 公共図書館のお宝自慢~
製本講座



《目次》

- 「ちょっと離れたところから」.....1
- 連載:おはなし・読み聞かせ実践講座.....1
- 連載:子ども読書支援関係ボランティア団体等紹介.....2
- 新聞・雑誌クリッピング担当から.....2
- ブックリスト担当から.....3
- インターネットからの情報収集担当から.....3
- 図書館と県民のつどい埼玉2009.....4
- 平成21年度県立図書館子ども読書支援事業.....4

Shien 第8号

子どもの読書に関わる大勢の方の活動とネットワークを支援(Shien)するそんな大きな願いをもったささやかな情報誌です。

平成21年9月1日 発行

埼玉県立久喜図書館 子ども読書支援センター

ちょっと離れたところから

私は子どもの本が好きなのと、子どもと接することがしくて、小学校の読み聞かせボランティアや、学校司書をしていました。そして今は、ちょっと離れて、学童保育の指導員をしています。

小学校で感じたのは、読み聞かせや絵本が好きな子が多いこと、でもひとりで読むとなると本に手を伸ばさない子もいること、それでも友達から「これおもしろいよ」といわれるとすぐに手をのばす子も多いこと、そうやって人気本が生まれることなど。友達からの口コミの効果が大きいのは、失敗しない安心感なのかなと思いました。子どもも大人もおもしろい本を見つけて、どんどん口コミしていって、もっと本が楽しくてみんなに身近になるように思います。

今は学童保育で、町の図書館から借りた絵本や紙芝居を、交代で毎日読み聞かせています。学童はとても自由な雰囲気なので、集中しなかったり、時にはヤジっばいものがとんだり、はじめのうちは覚悟(?)が必要でした。でもあまり反応を気にせずに、話を素直に語りかけるように心がけたら、子どもも引き込まれたように聞いてくれるようになってきました。読み聞かせは絵本の力なんだなぁとつくづく思います。また、学童では子どもが指導員に絵本を読み聞かせてくれることも多く、とても新鮮で幸せな時間です。

子どもの本は大人も夢中になるものが多いので、これからも色々な形で、子ども達と一緒に楽しみたいと思っています。

学童保育指導員 T



Shienくん②

『ぐりぐら』の
カステラ はもろん

ばばあちゃんの
『よもぎたんこ』
もいいな

『ちびくろさんぼ』の
ホットケーキ も
おいせー

おむと
たべたくなる
おやつ
ベスト3

広げよう読み聞かせ・ストーリーテリングの輪

地域子ども読書支援事業

絵本の読み聞かせ・ストーリーテリングの初心者向け研修会を応援します

講師:おはなしボランティア指導者

実施期間:第2期・10月~12月 第3期・1月~2月

申込み:第2期・9/1~10/31 第3期・11/1~1/31

対象:絵本の読み聞かせやストーリーテリング初心者のボランティアグループ(幼稚園、児童館、小中学校のボランティアグループなど)

詳しくは、埼玉県立図書館のホームページ「子ども読書支援サービス」
https://www.lib.pref.saitama.jp/stplib_doc/ko_shien/shien4.html

編集後記 頭の中では、わかっていても、文字にするのは、なかなか難しいと実感したこの頃、一緒に考えてくれた人達にあらためて感謝の思いです。



編集発行 埼玉県立久喜図書館
子ども読書支援センター
協力 子ども読書支援ボランティア

埼玉県立図書館のホームページ「子ども読書支援サービス」
<https://www.lib.pref.saitama.jp/>

〒346-8506 埼玉県久喜市下早見85-5
☎ 0480(21)2659(代) fax 0480(21)2791

おはなし・読み聞かせ実践講座



今回はちょっと番外編! 特別支援学級で図書ボランティアをしている方のワンポイント・アドバイスをお届けします。

特別支援学級での読み聞かせ

大切なことは、これまでこのコーナーで皆さんが書かれていたことと同じです。おはなしを聞いてくれる子どもたちの個性を知り、心から楽しんでくれる本を探し、練習し、仲間と励ましあう。そして、続ける!

そのうえで、次のバリアー・フリーグッズ(?)の力を借りることをおすすめします。

大型絵本 視力の弱い子どもや、集中しにくい子どものために。

紙芝居の舞台 おはなしの始まりと終わり、視覚的な境界がわかりにくい子どもがいます。舞台の「扉」がおはなしの始まりと終わりを知らせ、「木の枠」が、「ここに、おはなしがあるよ」と、教えてくれます。

机とイス 床にすわるのは、腹筋や背筋を使います。姿勢保持の困難な子どもがいます。机とイスがあるほうが、楽に聞くことができ、おはなしに集中できます。

科学絵本 虫・動物・天気・電車の好きな子どもが多いようです。そして、先生方の「へえ〜、そうなの?」「すご〜い」の声が自然に引き出せるのがポイント。特学では、精神的なコンディションが、子どもたちの能力を大きく左右するのを感じます。周りの大人が、読み聞かせの時間を楽しんでいると、子どもたちの理解力が飛躍的に増します。

はじめて読みに行く方に、おすすめの本(小学校向け)

書名	著者	出版社
はずかしがりやのかんたくん(紙芝居)	神沢利子・脚本 垂石真子・画	童心社
はじめてのおつかい(大型絵本)	筒井頼子 作 林明子 絵	福音館書店
トンボくんとなかまたち(紙芝居)*このシリーズすべて	今森光彦写真・作	教育画劇
はじめまして	新沢としひこ作 大和田美鈴 絵	すずき出版
わたしのて	ジーン・ホルゼンターラー 文 ナンシー・ホフリ 絵	童話館出版

杉原洋子(久喜市立太田小「わかば」、太東中「みのり」、久喜東中「あすなる」図書ボランティア)

久喜市立本町小学校 図書ボランティア 子ども読書支援関係ボランティア団体等紹介

"子どもたちに少しでも本にふれてもらいたい"
 そんな思いで、平成9年、4人から始まりました。始めは、昼休みの時間の読み聞かせから
 でしたが、学校側のご理解の上、現在の朝読書の時間になり、人数も32名となりました。
 活動内容は...



1	お話し会(読み聞かせ):各学年月1回 月曜日の8:15~8:30
2	図書室で本の貸出補助、本の分類、整理・修理(毎週木曜日昼休み)
3	定例会(月1回):本町小文庫の整理・修理、読んだ本のおたより作成(年2回)
4	お話し会の本の選書、本町小文庫の本の紹介
5	夏休み図書室開放のお手伝い(プールの日、サマースクール(本年度))
6	就学時健診時の読み聞かせの実演(図書ボランティアの活動のPRとともに)

この他にも、昨年は学校からの依頼で、4年生の研究授業のお手伝いや、就学時健診の時、保育ボランティア「子育てネットワーク・久喜んこ」協力のもと、未就学児の保育のお手伝いをしました。

本町小文庫(学年ごとの図書コーナー)は、PTA資源回収報償金から本を購入させていただき、子どもたちもたくさん読んでくれています。

これからも、子どもたちと楽しんで、活動を続けていきたいと思ひます。

稲垣光枝、中村弘美、楠本芳恵(久喜市立本町小学校 図書ボランティア)

きりぬき羅針盤

新聞・雑誌クリッピング担当から

今回紹介する記事は、日経新聞(夕刊2008年12月17日17頁)掲載の、**授業で使おう学校図書室**です。学校の図書室を読書だけでなく、授業で積極的に活用する動きが広がっている。背景には2011年度に本格実施される学習指導要領に「図書室を計画的に利用して主体的、意欲的な学習活動を充実する」と規定したことがある。

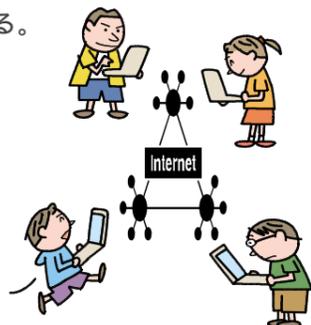
そして、次の2つの事例が紹介されている。

東京都荒川区立赤土小学校では、非常勤職員の学校図書室指導員を置き、調べ学習に必要な資料などをあらかじめ準備をする。子どもが図書室で豊富な資料に触れ「自分で調べたい」と思わせれば、自主性が伸びると効果を実感。

東京狛江市立緑野小学校では、公立図書館や他校との連帯に力をいれている。図書室に司書が詰めており、図書館同士はネットワークを介して結ばれている。図書室を「学校のメディアセンターと位置づけている」。図書室が問題解決型の学習指導には欠かせない部屋になっている。

どちらも学校図書室に人がいて、整備され機能していることが、素晴らしい!!!

井上(子ども読書支援ボランティア)



使えるブックリスト

ブックリスト担当から



時間別ブックリスト「5分以内の本」と「10分以内の本」のリストが完成しました。その中から「5分本」を使ったプログラムをご紹介します。

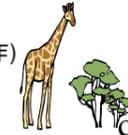
低学年

『ぼくのおべんとう』 } 2冊一緒にどうぞ!
 『わたしのおべんとう』 (スギヤマ カナヨ作) (アリス館)
 間瀬なおかたの大きな本シリーズを季節に合わせて.....
 (春・冬) 『でんしゃでいこう』
 (夏) 『ドライブにいこう』
 (秋) 『あめのひのえんそく』 (ひさかたチャイルド)



中学年

『僕のだいすきなケニアの村』 (ケリー・クネイン作 B.L出版)
 『メチャクサ』 (ジョナサン・アレン作) (アスラン書店)
 教室があつという間にアフリカに? はたまたジャングルに!!



高学年

『木』(木島始 文 佐藤忠良 画) (福音館書店)
 『くろねこのかぞく』 (ピョートル・ウィルコン作 いずみちほ 訳) (セーラー出版)
 『木』は、一見地味な本ですが、力強い絵と言葉に加え、しなやかさもあふれています。組み合わせる本を選ばない、使いやすい一冊です。

低学年での読みきかせにおすすめした『ぼくのおべんとう』『わたしのおべんとう』の2冊。“ぼく”と“わたし”の間でおかずのとりにかえっこがあるので、1冊ずつ続けて読んでも、子どもたちは大喜びですが、二人の読み手が並んで2冊を交互に読むのも楽しいですよ。息の合ったかけ合いが要求されますから、二人での事前練習は不可欠ですが、ぜひ挑戦してみてください。

森澤(子ども読書支援ボランティア)



Nice to meet you!

子ども読書支援ボランティアです。

埼玉県立図書館のホームページ
<https://www.lib.pref.saitama.jp/>
 「子ども読書支援サービス」のページ



このコーナーでは私たち3グループの活動の一端をご紹介します。

知っ得情報!



インターネットからの情報収集担当から

*** おすすめHP(ホームページ)の紹介 ***

小川未明文学賞

<http://www.city.joetsu.niigata.jp/contents/history/mimei/index.html>

上越市のHP。小川未明文学賞受賞作品・受賞者・出版社一覧を掲載。

椋鳩十児童文学賞

http://www.city.kagoshima.lg.jp/_1010/shimin/5kyouiku/5-3bunka/5-3-5bungakushou/0002773.html

鹿児島市のHP。椋鳩十児童文学賞受賞作品・受賞者・出版社一覧を掲載。

埼玉文芸賞(児童文学部門)

<http://www.saitama-bungakukan.org/>

さいたま文学館のHP。主な受賞作品・受賞者を掲載。



今回は文学賞と受賞作品を紹介するHPの紹介です。下記は「いろんな賞をまとめて見たい」というときの参考に。
 やまねこ翻訳クラブ <http://www.yamaneko.org/>
 (Shien4号でも紹介。「資料室」には海外児童文学賞の受賞作品リストが満載)
 朝の読書推進協議会 http://www1.e-hon.ne.jp/content/sp_0032.html
 (ページの右上「文学賞」から移動できるページには国内の主だった文学賞が掲載されています)

大澤(子ども読書支援ボランティア)